

コース距離：約0.8km  
ゆっくり：約13分



### ①阿世知牧直の碑



島唄の神様になったと言われる牧直。薩摩藩時代の後期、民衆詩人として親しまれた牧直は、この安木屋場で生まれ、そこで生涯を閉じた人。牧直の名声は、彼の死後ひとつの伝説をつくりあげるほどのものとなったそう。安木屋場墓地の片隅にある小さな牧直の墓に腰をかけて、三味線や唄の空稽古をすると、上達が早いと言われていそうです♪

上達するといいな♪



安木屋場漁港

みーし行けど！ ③-1



③-2

こっち こっち！

### ③今井権現神社

大島代官職、今井六右衛門が1726年に石碑を寄進し、平家の落人伝説の今井権太夫を祀ったのがこの神社。この神社の石段は薩摩から持ち込まれたものとされ、ここに平家の落人が源氏の見張り所を設けたと伝えられています。石段153段、石数628個！頑張って登ってみよう♪



③-3

願いが叶いますように★

②まで歩いたら  
③目指して車で  
移動だワン!!



龍郷方面→

安木屋場トンネル



南国情緒あふれるソテツ。この群生地では他の植物の進入を拒むように、山一面がソテツで覆われています。歩きながら見上げるソテツも雄大ですが、車で眺める景色も圧巻です☆

ここから  
歩くワン♪

コース距離：約2.6km  
ゆっくり：約45分



### ⑤ 平瀬マンカイ祭場地

神聖なところだな

⑤

ショチョガマの同日夕刻、潮が満ち始める頃、400年も昔から伝わる「平瀬マンカイ」が行われる。秋名湾西岸のふたつの岩礁を舞台にひとつは神平瀬と呼ばれる5人のノロ（神女）が立ち、もうひとつは女童（メラベ）平瀬と呼ばれる7人の宮司が立つ。太鼓の音色に合わせ、互いに平瀬マンカイの唄をうたい、ネリヤカナヤ（海のかなたの神の国）から稲魂（ニャーダマ）を招き、豊穡を願う。その後、海岸で人々も加わり、八月踊りが行われます。国指定重要無形民俗文化財です☆

寄り道ポイント



へえーすごーい!!  
近くの嘉渡集落へ行くとある養成所。現在の織工は6人。ここでは実際に袖を織っているところを見学することができます。☆駐車場あり。土日は休みです。



秋名柄だ

WC

龍郷方面  
(嘉渡方面)

秋名  
コミュニティ  
センター

秋名  
駐在所

スタート

ゴール

寄り道ポイント!! ②  
嘉渡方面へ行くと←81  
「町立大島紬織工養成所」があるワン!! 袖を織っているのを見学できるワン♪  
※土日休み ※P有り



水田地帯がどこまでも~♪

寄り道ポイント!! ①  
あと、1km程農道まっすぐへ行くと『さたやどり』があるワン。黒砂糖作り体験ができるワン♪



こっち  
奄美有数の水田地帯  
なんぞすね~♪



名瀬方面→

### ③ ショチョガマ祭場地

のどがだね。

③

旧暦の八月初丙の日、龍郷町秋名集落では、早朝に「ショチョガマ」、夕刻に「平瀬マンカイ」が行われる。これらは稲の豊作を祈り、感謝をするアラセツ（新節）行事。ここでは、夜明け前、太鼓の音が鳴り響き集落の男達が山の中腹に集まり、約3mほどのわらぶきの片屋根に男達が上がり、片屋根を左右にゆり動かす。倒れる方位によって豊作の吉凶を占い、南に倒れると豊作の知らせと言われるそうです。その後、倒れた片屋根の上で人々は八月踊りを舞い、豊穡を祈る。国指定重要無形民俗文化財です☆



③ よいしょよいしょ♪

ショチョガマ祭場地

③

### ① 琉球石垣

こんにちは大きい!!



①

奄美大島はかつて琉球王国の属国であり、島内にはその名残が数多く残る。この石垣は1852年頃、琉球石工の築といわれ、珊瑚石灰岩の亀甲乱れ積みという発達した積み方で、石の間に隙間がほとんどない。見事な積み方に圧巻☆注意! ここは個人宅なので敷地内に入るのは控えてください。



すごーい!

①

### ② 高倉



南方から伝わった高倉。ネズミの害を防ぐため、滑りやすい丸柱で倉を高い位置に造っています。風通しがよく、穀物を湿気から守る役割も果たしています。釘を1本も使っていないのが特徴的で、先人の知恵がうかがえます♪奄美大島には今もなお、あちこちで高倉が残されています☆

②

高倉

①

琉球石垣

WC

⑤

平瀬マンカイ祭場地

### ④ 厳島神社

秋名の漁港を見守るようにたたずむ厳島神社。神社へと登る階段が砂利で敷き詰められているのもなんだかユニーク♪眺めもぐう!!



お参りお参り♪

開

厳島神社

④